

2022年6月18日

株主各位

東京都渋谷区渋谷一丁目16番14号  
東急建設株式会社  
取締役社長 寺田 光宏

### インターネット開示事項の一部修正について

当社「第19回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」の記載事項の一部に修正すべき点がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトへの掲載をもって下記のとおり修正させていただきます。なお、修正部分には下線を付しております。

### 記

【修正箇所】（下線を付しております。）

「第19回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」  
連結注記表

[収益認識に関する注記] (15頁)

3. 当連結会計年度および翌連結会計年度以降の収益の金額を理解するための情報  
(1) 顧客との契約から生じた債権、契約資産および契約負債の期首残高および期末残高

(修正前)

(単位：百万円)

	当連結会計年度	
	期首残高	期末残高
顧客との契約から生じた債権	39,537	35,077
契約資産	63,324	79,243
契約負債	13,662	14,573

契約資産は、主に建設事業において当期末時点で完了している工事等に対する対価のうち、未請求の部分に対する当社及び連結子会社の権利に関するものです。契約資産は権利が無条件になった時点で債権として取り扱いますが、これは契約条件に基づき、請求書を顧客に発行した時点および工事等の完成引渡が完了した時点となります。当連結会計年度にお

る契約資産の 15,918 百万円の増加は工事等の進捗によるものであり、債権の 4,460 百万円 の減少は対価の受領によるものであります。

契約負債は、主に建設事業において、契約条件に基づき顧客から受領した前受金等に関するものであります。契約負債は、収益の認識に伴い取り崩されます。当連結会計年度における契約負債の 911 百万円の増加は、顧客から受領した前受金等の増加によるものであります。なお当連結会計年度に認識した収益のうち、期首時点で契約負債に含まれていた額は、12,694 百万円です。また過去の期間に充足（又は部分的に充足）した履行義務から、当連結会計年度に認識した収益の額は 2,236 百万円 であります。

(修正後)

(単位：百万円)

	当連結会計年度	
	期首残高	期末残高
顧客との契約から生じた債権	<u>43,010</u>	35,077
契約資産	63,324	79,243
契約負債	13,662	14,573

契約資産は、主に建設事業において当期末時点で完了している工事等に対する対価のうち、未請求の部分に対する当社及び連結子会社の権利に関するものです。契約資産は権利が無条件になった時点で債権として取り扱いますが、これは契約条件に基づき、請求書を顧客に発行した時点および工事等の完成引渡が完了した時点となります。当連結会計年度における契約資産の 15,918 百万円の増加は工事等の進捗によるものであり、債権の 7,932 百万円 の減少は対価の受領によるものであります。

契約負債は、主に建設事業において、契約条件に基づき顧客から受領した前受金等に関するものであります。契約負債は、収益の認識に伴い取り崩されます。当連結会計年度における契約負債の 911 百万円の増加は、顧客から受領した前受金等の増加によるものであります。なお当連結会計年度に認識した収益のうち、期首時点で契約負債に含まれていた額は、12,694 百万円です。また過去の期間に充足（又は部分的に充足）した履行義務から、当連結会計年度に認識した収益の額は 1,449 百万円 であります。

以上